

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【公開番号】特開 2019-146841 (P2019-146841A)

【公開日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2019-036

【出願番号】特願 2018-34161 (P2018-34161)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 26 日 (2021.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて取得情報を記憶する取得情報記憶手段と、

前記取得情報に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、

特定の識別情報の変動表示の開始前に、事前演出を実行するかどうかを事前判定する事前判定手段と、

遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不可能な入球不能状態と、に変化可能な可変入球口と、

前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記可変入球口を入球可能状態とする特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

を備えた遊技機であって、

前記事前演出は、前記特定の識別情報の変動表示の内容を示す演出であって、当該特定の識別情報の変動表示より前の識別情報の変動表示に伴って実行される演出であり、

前記事前演出として第 1 演出を有し、

前記事前判定手段が前記第 1 演出を実行するかどうかの事前判定を実行する判定条件は、少なくとも、前記取得情報記憶手段に記憶される取得情報の数が 2 個以上の所定個数である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 演出は、複数回の識別情報の変動表示に亘って実行可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定の識別情報の変動表示の内容を示す演出であって、当該特定の識別情報の変動表示に伴って実行される特定演出を備え、

前記特定演出として第 2 演出を有し、

前記第 2 演出は、前記第 1 演出を経て実行される場合と、前記第 1 演出を経ることなく実行される場合とがあることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特定演出として第 3 演出を有し、

前記第 2 演出が前記第 1 演出を経ることなく実行される場合、当該第 2 演出は前記第 3

演出を経て実行されることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するための第 1 発明の遊技機は、
所定条件の成立に基づいて取得情報を記憶する取得情報記憶手段と、
前記取得情報に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、
特定の識別情報の変動表示の開始前に、事前演出を実行するかどうかを事前判定する事前判定手段と、
遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不能な入球不能状態と、に変化可能な可変入球口と、
前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記可変入球口を入球可能状態とする特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、
を備えた遊技機であって、
前記事前演出は、前記特定の識別情報の変動表示の内容を示す演出であって、当該特定の識別情報の変動表示より前の識別情報の変動表示に伴って実行される演出であり、
前記事前演出として第 1 演出を有し、
前記事前判定手段が前記第 1 演出を実行するかどうかの事前判定を実行する判定条件は、少なくとも、前記取得情報記憶手段に記憶される取得情報の数が 2 個以上の所定個数である
ことを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、第 2 発明の遊技機は、第 1 発明の遊技機において、
前記第 1 演出は、複数回の識別情報の変動表示に亘って実行可能であることを特徴とするものである。
また、第 3 発明の遊技機は、第 1 発明又は第 2 発明の遊技機において、
前記特定の識別情報の変動表示の内容を示す演出であって、当該特定の識別情報の変動表示に伴って実行される特定演出を備え、
前記特定演出として第 2 演出を有し、
前記第 2 演出は、前記第 1 演出を経て実行される場合と、前記第 1 演出を経ることなく実行される場合とがあることを特徴とするものである。
また、第 4 発明の遊技機は、第 3 発明の遊技機において、
前記特定演出として第 3 演出を有し、
前記第 2 演出が前記第 1 演出を経ることなく実行される場合、当該第 2 演出は前記第 3 演出を経て実行されることを特徴とするものである。